

## 第4回 天塩川上流減災対策協議会 議事要旨

日時：平成30年 2月20日（火） 13時30分～15時20分

会場：グランドホテル藤花 2F大雪の間（名寄市西5条南4丁目）

参加者：別紙による

### 【議事】

- (1) 減災対策協議会の規約改正について
- (2) 幹事会の報告
- (3) 減災にかかる各機関の取組状況の共有について
- (4) 天塩川上流の北海道管理河川を含めた取組方針の改定について
- (5) 大雨や台風から命を守る～進化した気象警報&危険度分布
- (6) 今後のスケジュールについて

### 【議事要旨】

- ・規約（案）について 北海道警察旭川方面本部士別警察署、名寄警察署及び美深警察署の追加、構成員の変更について承認
- ・各機関の平成29年度減災に関する取組状況の情報提供
- ・「概ね5年間で実施する取組」の進捗状況の確認
- ・天塩川上流の減災にかかる北海道の取組方針（案）の確認及び承認
- ・進化した気象警報&危険度の紹介

### 【委員からの主な意見】

#### （士別市）

- ・毎年住民からの地域要望を受け現地確認をしている。河道内の伐木について道に要望し回答をもらっている。
- ・少しでも災害を減らせるよう取り組んでいる。

#### （名寄市）

- ・北海道が豊栄川の浸水想定を公表したことから、名寄市ではH30年度にハザードマップの作成を考えている。
- ・気象台の情報が進化していると感じる。
- ・昨年台風18号の時に避難準備情報を発令した際、アラートが有効だったが定型文であり使い勝手が悪いところもある。解除情報の音を替えるなど融通が効くようになるとよい。

#### （和寒町）

- ・H28年7月の出水では警察に最前線で活躍してもらい感謝。
- ・「田んぼダム」が下流に効果があるのではないかと考えている。今後組織的に活動し下流への流量調節に貢献できればと考えている。

#### （剣淵町）

- ・剣淵川では以前、北海道に土砂掘削や伐木を行ってもらったが、その後土砂堆積、樹木の繁茂が進んでいる。今後の剣淵川の維持に協力をお願いしたい。
- ・町では独自に地域安全部長を配し自助を基本に訓練を実施している。

(下川町)

- ・名寄川流域は大きな水害がなく住民の災害への意識が低い。いつ災害が起きてもおかしくないと考えている。特に内水氾濫が大きいことから、氾濫を抑える対策を進めている。
- ・水害時に最初にどう避難するかモデル地区を作り避難誘導マニュアルを作成中。その後地元の情報聞き取りながら全戸に広げる予定。

(美深町)

- ・近年大規模出水や河川氾濫がなく、河道掘削の効果により出水時に水位上昇はない。今後も河川整備をよろしく願う。
- ・ハザードマップの更新作業中だが美深町の市街地がほぼ浸水し、避難場所が少ないのが課題。
- ・昨年にも訓練を実施しているが有事の際に対策できるよう取り組んでいきたい。

(音威子府村)

- ・天塩川は地域の財産、うるおいのある空間でもある。減災はもちろん資源の観点も必要。
- ・天塩川日誌復刻版を作成するそうだが、部数を多くし、流域市町村でつかえる教材にしてほしい。
- ・松浦武四郎の出身地の松坂市とも交流を続けていく。

(中川町)

- ・災害は忘れてなくてもやってくる。今年度も各地で被害が発生しており、災害は必ず発生するものと認識している。
- ・昨年9月に住民参加の講習会を開催し住民の防災意識を高めた。
- ・気象台から紹介された危険度マップは避難勧告のタイミングの参考にしたい。
- ・天塩川での解氷日クイズ、水切り大会等を通じて、日頃から天塩川とともに暮らしてきた。天塩川とともに生きるという気持ちが大事。

(上川総合振興局)

- ・災害工事の発注が90%を越えた。
- ・H29年にホットラインを構築。他の地域では避難勧告のタイミングで水位情報を提供した。
- ・河川の伐木は市民の力を借りて行う制度もあるので相談してほしい。

(士別警察署)

- ・災害時には関係各所の協力が不可欠。
- ・河川関係では近年死傷者はでていないがポンプなどの資材がないため各種訓練を通じて連携したい。

(名寄警察署)

- ・名寄市は川に囲まれた特殊な地形で、最悪時は市の三分の一が浸水し、深い所では2階や3階まで浸水する。最悪を想定して代替施設を確保するなど市と連携して対策を進めてきた。
- ・情報の伝達システムが発達しても住民が避難しなくては意味がない。1人でも逃げ遅れのないよう努力したい。

(美深警察署)

- ・今回の協議会に参加しハード施策を勉強した。警察はソフト対策がメインの取組となるので自治体と協力し避難誘導を重点的に進めたい。
- ・110番が認知されていることから、住民は役場より警察に情報を連絡してくるのではないかと。

窓口の連絡体制強化が大切と考えている。住民が命を落とさないためにも協力していきたい。

(気象台)

- ・ 本日紹介した危険度分布や警報級の可能性について、大雨時以外でも5日先まで予測できるため、活用してほしい。
- ・ 気象情報を活用していただくため、防災教室等による普及啓発に取り組みたい。

(旭川開発建設部長)

- ・ 首長本人が出席し関係機関から最新の情報など聞いてもらったことは重要。
- ・ 正確な情報をいかに住民に届けるか、判断力、リーダーシップが大事。
- ・ 当部を含め各機関の災害担当者が減少している状況であるが、技術、意識の向上が必要と考えている。

(以上)